

男声合唱団 阪南メンネルコール
令和4年度定期総会

■日 時 令和5年 4月 11日(火) 午前9時から10時まで

■場 所 尾崎公民館 2階講義室

■総会成立の確認 : 副団長 圓句豊明

■議 長 副団長 山品裕重

■議 題

1. 令和4年度活動報告 : 団長 江川 猛
2. 令和4年度会計報告 : 会計 深津 明
会計監査報告 : 会計監査 八束 徹
3. 令和5年度活動方針 : 団長 江川 猛
令和5年度予算案 : 会計 深津 明
4. 世話役の改選
5. その他

※総会の成立(規則第9条)

●総会は、団員の3分の2以上の出席で成立し、決議は出席者の過半数による。

●3月末時点で休団中の団員を除き登録会員は14名です。総会成立人員は、10名。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ・片山孝 | ・鳥山明夫 | ・丹羽孝二 | ・山品裕重 |
| ・八束徹 | ・圓句豊明 | ・深津明 | ・木津西諭 |
| ・川村基次 | ・吉田裕和 | ・江川猛 | ・河原愼治 |
| ・渡邊正明 | ・金川泰典 | | |

以上

男声合唱団 阪南メンネルコール
令和4年度活動報告

■ 年間活動

令和元年 2 月に発生した武漢熱コロナ感染症の収束が長引く中であっても、マスクの着用や体温管理や部屋の換気など感染対策処置を施しながら、練習年間計画を予定通り進めることができたことは、団員の皆さんの結束したご協力のお陰であったと感謝している。

■ 外部コンサート

1. 第29回七夕コンサート 7月3日(日) サラダホール 15人参加
「手のひらをかざして」
「Sing」
「これが音楽」
コロナ対策で「たなばたさま」の全員合唱は中止となり、メンネルだけで2部合唱を歌った。

2. 第57回尾崎公民館まつり 10月22日(土)23日(日) 尾崎公民館 13人参加
出演は23日(日)でメンネルの男声合唱に加え、ピッツィカートと混声合唱を演奏した。
「Sing」「大地讃頌」:以上を男声合唱
「奇跡」「道化師のソネット」:以上をピッツィカートと混声合唱

3. 第36回泉南地区合唱フェスティバル 11月23日(水・祝) 泉の森ホール 15人参加
マスク着用で歌い、有観客で聴き合う演奏会となった。
「Sing」「大地讃頌」を演奏した。
Singをはじめて楽譜なしで演奏した。聴衆の一部から驚きの反響があったようだ。
コロナ感染症対策としてリハーサルを中止としたため、場立ちと直前の7分間の声出しだけの準備時間しか取れなかった。

■ 練習(令和4年3月～平成6年3月まで) 延べ39回の練習となった。

- ・ 4月(3回) ・ 5月(3回) ・ 6月(4回) ・ 7月(3回)
- ・ 8月(4回) ・ 9月(3回) ・ 10月(3回) ・ 11月(4回)
- ・ 12月(3回) ・ 1月(3回) ・ 2月(3回) ・ 3月(3回)

- 今後総会は4月に実施することとなった。

■ その他

- 臨時総会を開催し、第2回演奏会の開催に向けて準備することが決定した。
- 演奏会終了後の打上げ会、忘年会はコロナ禍を考慮し中止することとなった。
- ホームページやEメール配信などを活用し、音取りや連絡事項などを実施した。
- 阪南市文化芸術活動継続支援助成金事業に応募し採択された。令和5年1月にサラダホール大ホールで特別練習を実施した。

令和5年度活動計画

目標：『生涯現役で合唱にチャレンジする』

	活動計画	内容
1	練習計画	原則として毎週火曜日、月3回の練習を行う。団員の高齢化に伴い夜練習の負担を減らし、朝練習の回数を増やす。 練習回数は、年間37回（朝練習25回、夜練習12回）とする。
2	七夕コンサート	7月2日（日）に30周年七夕コンサートとして開催する。 団は当番団として実務団を担当する。 阪南市合唱連盟に担当団長と理事1名を登録する。
3	尾崎公民館クラブ会	尾崎公民館クラブ会の正委員と副委員を登録する。
4	尾崎公民館まつり	10月21日（土）と23日（日）に開催する方向である。 開催されれば参加し、尾崎公民館クラブ会の運営に協力する。
5	泉南地区合唱フェスティバル	11月23日（木・祝）：エブノ泉の森ホールで開催する方向である 団は理事会の決定に従って参加する。 泉南地区合唱連盟の運営に協力する。
6	定期演奏会	第2回の定期演奏会実施に向けて準備の年とする。 開催時期、実施形態などを検討していく。
7	総会	令和5年度総会は、令和6年4月に実施する。
8	懇親会	昨年度はコロナ禍で懇親会や忘年会を控えてきたが、コロナ禍が収束にむかう中、懇親会の開催に努力する。 （慰労会・忘年会・カラオケなど）
9	新入団者獲得活動	・ホームページ・ツイッター・ブログなどを充実することで当団の活動を広くPRしていく。 ・団員が協力して新入団者の獲得に努力する。 ・団の名刺を活用し、新規名刺印刷は無料とする。 ・団員募集ポスターは逐次更新する。
10	その他	・ブーンメイツ他の男声合唱団との共演は、コロナ禍の収束を待って検討することになっていたが、ブーンメイツの活動中止の報告を受け、他団との共演検討は一時中止する。 ・ボランティア活動の対応についてもコロナ禍の収束を待って検討する。